

《 実 践 編 》

第 4 章 防災教育に関する各教科の内容・指導事例

1－① 地震・津波・防災に関連する内容

(第一小学校)

【小学校 低学年】

発 達 段 階 に 応 じ た 目 標
○危険物の認識 ・災害発生時の危険な場所を認知すると共に、地域の避難場所や避難所を知る。
○初期避難行動 ・災害発生時に自分の身を守る基本的な手立てを身に付ける。 ・災害発生時には、教師や保護者の指示に従い適切に行動することができる。
○協調性の育成 ・集団生活に必要なルールを理解し、守ることができる。

〈各教科等における主な関連内容〉

教科等	単元名	取り扱いの一例
○生活	【1年】 みんながっこうをあるこう みんなでつうがくろをあるこう 【2年】 まちたんけんに行こう もつとなかよしまちたんけん	・学校内のいろいろな場所にいるときに地震が発生したらどうするのかを知る。 ・避難場所や記念碑、避難標識などをさがしてみる。 ・過去にどこまで津波が来たのかを確認したり、絵地図づくりをしたりする。
○算数	【2年】 時こくと時間 かけ算 長いものの長さのたんい	・津波の到達時間を用いて、到達時刻を求める問題を解く。 ・地震の回数に関する問題を解く。 ・津波の高さを用いて、単位変換の問題を解く。
○体育	【1年・2年】 体ほぐしの運動（集団行動）	・避難時に、整然と並んで移動できるようにする。
○道徳	【1年】 いのちがあってよかった 〔生命の尊重〕 【2年】 きいろいベンチ 〔公德心、規則の尊重〕	・東日本大震災の経験と家族の心情を通して、生命の尊さに気付き、自他の生命を大切にしようとする心情を育てる。 ・避難所での生活を想像し、みんなで使う場所や物を大切にしようという態度を養う。
○特別活動	【1年・2年】 じしんとさいがいひなんのしかた ※学校行事「避難訓練」との関連	・地震などによる災害の恐ろしさを知らせると共に、安全な避難の仕方を知る。